

## 平成30年度 第2回センター委員会(議事録)

### 日時・場所

平成31年2月9日(土) 13:30～14:30

金沢地区センター2階 大会議室

### 出席者

委員：10名中 7名出席

その他：金子協会事務局長 金沢地区センター 糀谷館長 對馬副館長

### 議事録要旨

司会・進行 糀谷館長

#### 1 会長あいさつ

横井会長あいさつ

#### 2 報告事項

糀谷館長：本日委員会終了後(午後3時～)の利用者懇談会を開催予定のため委員の出席を依頼した。

糀谷館長：資料に沿って概要説明

P1～2「年度別・センター利用者統計表」

入館者実績

- ・入館者合計 H30年12月末で延べ110,732人 昨年より3,129人減  
年度末までの3か月間で前年度を超える利用者数となることを見込んでいる。  
理由は、前年度の同時期に体育館が工事のため使用中止になっていた分が今年度は増員となることから前年度を上回ることが想定される。
- ・利用者別では団体利用者の、高校生及び65歳以上の男女が共に伸びている。  
高校生は卓球やダンスの使用、65歳以上の男女はこれまで同様の伸びを見せている。  
健康な高齢者が増加していることが考えられる。
- ・居住別では、利用者全体の89.4%が金沢区内の在住の利用者となっている。  
このことから、地区センターが多く地域住民に支えられていることが見受けられる。
- ・部屋別利用では、料理室・余暇室・和室・スポーツ広場・体育館の順で伸びを見せている。  
料理室、体育館では若い人の利用が伸びている。和室ではカラオケの利用者が伸びていると思われる。
- ・団体の時間帯別利用では、概ね前年度と同様に使用されている。  
しかし、これまで同様、夜間については使用できる団体が限られていることから、全体の割合と比べて夜間の稼働率が低いことは変わっていない。
- ・利用料金収入については、H30年度は12月末までで、4,173,550円で前年度より

196,320 円増額となっている。

前年度比で、利用料金収入が4.7%の増額となっている。年度末までに大幅な減収がなければ、運営としては順調な状況であると考えられる。

#### P 3～4 「自主事業実施結果」

- ・成人対象は年度当初26事業を計画した。参加者不足や天候により4事業が中止となったが、中止分に代わる事業を計画し最終的には28事業を実施できる見込みである。現在までに延べ4861人の参加となっている。  
昨年同時期と比べると1161人の増加となっている。  
やはり健康趣向を反映して「健康体操」「ヨガ」「太極拳」が好評である。  
また、料理室を活用して「男のクッキング」「手作り蕎麦」なども好評を得た。
- ・子供対象では、12事業を計画し最終的には13事業を実施できる経過となっている。参加者は現在延べ419人の参加となっている。  
新たな事業としては、「気象予報士から教わるお天気教室」や「モールアートの作製教室」を計画し楽しんでもらうことが出来た。  
継続的な事業としては、「英語をエンジョイ」や「楽しいリトミック」などが好評を得ている。

#### P 5 「平成30年度予算執行状況」

- ・執行状況は12月までの仮決算なので、収入支出の内訳とも予算額の大きい科目について説明する。
- ・収入の部  
2の施設利用料金は予算額520万円に対して現在450万円となっているが、昨年度の体育館の工事による3か月分の減収分を収入予定額として想定したところ予算額の確保は達成できると考えている。  
3(3)自販機収入は、155万円に対して現在116万円余で、12月末現在で75%の収入となっている。ほぼ見込み通りの状況と考えている。  
4の自主事業収入は、予算額362万円余に対して現在257万円余となっている。  
募集人員に届かなかった事や当日の天候で中止になった事で参加費が減収した事が主な原因となっている。今後の実施分の収入を計上しても予算達成は困難と思われる。
- ・支出の部  
1(2)消耗品費は現在まだ31万円余の残額があるが、例年トイレットペーパーや事務用品等の支出が今後も多く想定されるので、今後もしっかりと節減を実施し予算額以内で納められるよう努力していく。  
2の事業費は、予算額282万円余に対して、現在208万円余の執行となっている。  
参加費を出来るだけ低くし利用者が参加しやすくするために、講師謝金や教材費などの事業費を削減している。今後も収入と支出のバランスに配慮して事業を執行する。  
  
3の修繕費については、予算額80万円に対して、現在の執行額は59万円余となっている。しかし、今後修繕が必要なものも多く残っているので計画性を持って必要なものは本部の直接執行で対応することで調整を行っている。このようなことから修繕費については、年度当初の予算額を超えた執行となる予定でいる。

5のニーズ対応費は、利用料金の1/3を利用者へ還元することが決められている。  
今年度中に予算額に見合った執行をしていく。

執行には利用者からの要望を最優先に検討するが、現在購入を予定している物としては、卓球台、防球ネット、バトミントンネット、プレイルームのマット、多目的トイレのベビーチェアの更新などで、最終的には180万円程度の執行を予定している。

利用者への還元はしっかり対応していく。

以上が12月末現在までの状況となっているが、概ね収入・支出とも平成30年度予算に対して予定通りの執行となっている。

#### P6～7「平成31年度 自主事業(案)」

- ・成人対象は、25事業を予定 「健康体操」「ヨガ教室」などの人気講座は継続して実施する。新企画としては「大人が楽しむヒップホップ体験教室」「楽しいハンドメイド斜め掛けバックを作成」「素敵なグリーンインテリア テラリウムを作ろう」などを新たに実施予定
- ・子供対象は、13事業を予定 好評であった「スポーツ広場から観る花火大会」や毎年多くの方が参加する「楽しいリトミック」「親子体操」などは継続して実施。  
新規企画として、「母の日に贈ろう心を込めたアレンジメントフラワー」や「夏休みの課題対策講座 モールアートで作る海の生物」などを実施予定。  
資料に掲載してある新規事業以外で現在講師と調整中の物もあるので、実施数の増に繋がるよう調整していく。

#### (質問)

委員：子供対象の「スポーツ広場から観る花火大会」では手持ち花火を使用しているが、終わった花火の片付けはどうしているのか。

館長：手持ち花火は使用できるエリアを指定しており、必ず親御さんに付いてもらい花火を楽しんでもらうことになっている。また、終わった花火は直ぐに水の入ったバケツに入れるようにしている。イベント終了後はスタッフが水を撒くほか、翌日センターがオープンする前にごみの確認を行っている。

委員：よく広場で子供たちが花火をすると終わった花火をそのままにして帰ってしまうことが地域ではよくあるので、センターがしっかり管理していることが分かったので問題がないことが分かった。

委員：「楽しいリトミック」の対象者はどうなっているのか。小学生程度か。

館長：対象としては保護者の方とともに来ていただける幼児が対象となっている。

委員長：グラウンドの使用率はどうなっているか。土日の利用が主で普段の日の利用があまり使われていないようでもったいないが。

館長：全体の中のグラウンドの利用者は8500人です。1万人に達していないので10%にもなっていない。平日は子供は学校に、成人の多くは勤務しているためどうしてもグラウンドは土日祝日の利用に偏ってしまう傾向がある。センターとしても出来るだけグラウンドを使用してもらいたいと考えている。今年度の実績では平日に交通安全協会のイベントやゲートボール、グラウンドゴルフなどに多く利用されている。

委員長：平日だとどうしても高齢者の利用が多くなると思うが、ゲートボールの大会のよう

な全面使用でないような場合、半面利用した場合の料金はどのようになっているのか。

館長：全面料金の半額となっている。ゲートボールだけでなくグラウンドゴルフなどの競技でも、試合時は全面で利用し、練習時は半面利用というような使用をされている。今後、地域でもグラウンドを使用して行うイベント等があれば是非センターに声を掛けていただきたい。必ず使用できるとは約束はできないが協力はしていく。

委員長：他に質問もないようなので次の事項に進みます。

委員：了承

### 3 その他

糀谷館長：資料に沿って概要説明

P 8～14 事務局より4件報告

#### ・1件目「利用案内の変更」

これまで利用者に配布していた「利用案内」について、今年度当初に予約システムが新たに導入され施設の予約方法が変わったため、11ページの7部屋利用の申込み(1)～(6)の部分を新たに入れ込んだ。また、これまで施設の内容は8ページの4に記載があったが利用者からは文字のみではイメージが湧かないとの意見も多くあったため、14ページの各部屋の写真を掲載することとした。変更の部分は以上。新年度より配布する。

#### ・2件目「利用者満足度調査の報告」

利用者満足度調査は毎年行っている調査で、今年度分のアンケートの集計がまとまったの報告します。今年度のアンケート提出件数は164件であった。男女の内訳は男性58件女性106件であった。年代は20歳未満の提出は無かったが、当施設を利用されている幅広い層から概ね均等に提出された。満足度の評価点は5点が最高点となっている。

質問項目は7問で、施設・設備・備品について(3.8)、使い勝手や清潔さなど快適性について(4.1)、予約の手続きについて(3.7)、職員やスタッフの対応・サービスについて(4.5)、自主事業について(3.8)、当センターに対して全体的には(4.0)の評価となり、昨年度と比べると全ての項目で同評価か上昇する嬉しい結果となった。

なお、今後のサービス向上や希望については冷暖房設備や照明などハード面の改修希望が多く出されました。これまでも設備の改修については多くのご意見を頂いているが、当センターもオープンから38年が経過しているため設備の故障が確かに多くなってきている。しかし、設備改修には高額な経費が係るため緊急対応以外については早急な改修は難しくなっている。そのことから皆様からのご意見があることは横浜市に伝えていく。なお、添付してある資料には提出されたアンケート内の質問に対する回答がまとめである。

#### ・3件目「学習室の開放について」

平成28年8月から午後3時以降で余暇室・中会議室に予約が入っていない場合、施設のサービスとして、学生に対し学習室として無料で部屋を開放している。

近年多くの市民(成人)からも学習室を利用したいとの要望が上がっている。また、区役所にも同じ要望があることから区役所地域振興課からも開放の依頼があり、区と調整

を進めた結果、成人の方に対しても4月から学習室の利用を認めることとした。

・4件目「委員の変更について」

現在の委員の任期は平成32年3月までとなっている。新年度に入って6月の日程で毎年当委員会を開催している。今後各選出団体で委員が変更になる場合は、速やかに事務局まで届け出をお願いしたい。

事務局からの報告は以上。

委員長：委員化の皆さんが居られるので、私からも皆さんにも知って置いて頂きたいことがある。当施設が出来てきた経緯ですが、金沢地区センターは横浜市内でも4館目か5館目に出来た施設で、横浜市内でも早くできた施設である。

その時に市の考え方は1つの区に5館程度というものが最初の予定であった。

金沢区では最初に金沢地区センター、次に釜利谷、富岡並木、六浦、能見台の順に建設が進み市の想定5館が出来上がった。金沢地区センターがオープンした時代は、施設は直営の管理で区の職員が運営に携わっていて、運営委員会も区連長が委員長となり他の団体の皆さんにも協力いただき運営を行っていた。

釜利谷、富岡並木が出来たあたりから区連長が対応していた運営委員会も各地区連に分散することが決まったと思う。

その当時、金沢地区連長だった私が金沢地区センターの運営委員を受けることになり現在に至っている。しかし、運営委員会の形はすっきりしたが、当時は利用者からあれも欲しいこれも欲しいとの要望ばかりであった。

当時の施設利用料金は無料であったので、そこで施設を使う以上は利用料を頂いたらどうかとの提案をしたところ、利用者から料金を取るには条例を変えないと対応できないとのハードルがあった。しかし、市民が同じ税金を払っているのに一度も市民利用施設を利用したことがない人と比べると不公平があるということを前面に出し条例を変更することになった。これが現在の利用料金制になった経緯であることを委員の皆さんにも知っておいてもらいたい。

私からは以上ですが、皆さんからは何かありますか。

委員：特になし

委員長：他に質問もないようなので委員会を終了します。